

青森県立保健大学附属図書館だより

ラポール *Rapport*

第6号 2006.3

◇ 『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します ◇

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点

目 次

共に学び、共に成長。	図書館職員	日高 亨子 …………… 2
図書館の思い出	看護学科 4年	滝谷 幸子 …………… 3
自分なりの利用法を見つけよう	理学療法学科 4年	須郷 磨衣子 …………… 3
図書館と大学生活	社会福祉学科 4年	千葉 瞳 …………… 4
深夜の図書館でドッキリ!	大学院博士前期課程 2年	舘 貴美枝 …………… 5
医中誌の追加機能 (Ver. 4) (シリーズ図書館を使いこなそう 第6回) …………… 6		
図書館を利用するその前に・開館時間のお知らせ …………… 8		



共に学び、共に成長。

図書館職員 日高 亨子



私がここ、青森県立保健大学附属図書館で働き始めたのは約4年前です。その当時私は「図書館で働きたい」という思いを胸に職探しの日々を過ごしていました。しかし現実には厳しく、図書館関係の求人は見つかりません。やはり図書館に拘らず職を探さなければ…と思い始めた時、保健大学図書館で司書として働く、というお話をいただきました。「図書館」で「司書として働く」。正に私が望んだ通りの仕事です。当然喜んでお受けしたのですが決まってからふと考えてみると、「図書館」でも、ここは「大学図書館」です。私が働きたいと思っていたのは一般的に言う「図書館」、つまり「公共の図書館」（市民図書館、県立図書館など）を想定していたのですが、ここは「大学図書館」です。…大学の図書館ということは専門書が殆どで、しかも“保健大学”だから私の全く専門外な蔵書ばかり？…大丈夫かな、私…。一気に喜びよりも不安の方が大きくなりました。

そんな気持ちを抱えたまま実際に働き始めてみると、頭の中で描いていた図書館業務とは大きく違う、ある業務に出会いました。それが「文献複写業務」です。これは、自大学では所蔵していない資料（図書、雑誌）の論文を、所蔵している他大学（または他機関）にその論文部分の複写をしてもらい、取寄せるといった業務です。私は就任早々この業務を担当することになりました。

まず利用者から文献複写依頼が届いたら、その依頼内容を確認します。書誌事項（書名・論題・著者名など）に誤りがないかWeb上の各種データベース検索（医中誌Web、雑誌記事索引、

Pubmedなど）でチェックをします。次に依頼された資料が本当に自館で所蔵していないか、念のため検索します。そして所蔵が無いものは、その資料の所蔵館を調べて複写物を取寄せます。

担当したての頃はその件数の多さ（多忙時は1日100件近く）に加え、依頼内容が自分にとって分野違いのものが殆どだったため、その内容については気に留めることもなく、ただ処理をすることだけに没頭していました。ところがしばらく業務をこなしていく内に余裕が生まれたのか、依頼内容に目が留まるようになりました。確認のため各種データベースで検索すると様々な論題がヒットします。該当する論文を探し流れで他の論文も目にするのですが、それがとてもラッキーな事だと気づきました。それまでは自分が知らない事だからと、どちらかというと“マイナスの思い”しか持てなかったのですが、仕事をしながら新たな知識を得られる、ということは、もしかしてお得なのでは、という認識になったのです。もちろん論題やアブストラクトに触れるだけなので、その時に実際に深くその分野について学んでいる訳ではないのですが、今まで読まなかった分野の図書や雑誌を手取るきっかけになっています。

4年前不安を抱えて仕事を始めましたが、実際に大学図書館で働いて様々な経験をさせてもらい、様々な知識を吸収したことで、私自身、ほんの少しですが、成長できたのではないかな、と思います。大学図書館という場合は、利用者だけではなく、図書館員側も共に学ぶことのできる場所なのだと、改めて実感しています。

～新入生へのメッセージ～

図書館の思い出

看護学科 4年 滝谷 幸子



2月26日 午後6時 看護師の国家試験が1時間前に終わり、明後日の提出を約束したこの原稿を、電車の中で（携帯で）書いています。引き受けたことをちょっとだけ後悔しながら…。

さて、夏涼しく、冬涼しい図書館なので、冬は若干足が遠のきますが、実習中・卒業研究・試験勉強と4年間利用させていただきました。1年生の頃、必要な本を探しだすのが苦手だった私は、同じ所をグルグルまわって先輩から『??』の目で見られ。2年生では実習中に参考書を延滞し怒られ。3年生ではちょっと慣れてきたのをいいことにおやつを食べているのを見つかり注意され。4年生ではグループ学習室の大きなテレビで、映画を見ることにはまってしまいました（これは怒られなくてよかった…）。

しかし、私もそんなふざけたことばかりしていたわけではありません（本当です）。特に卒業研究の時期は、文献を取り寄せていただいたり、個人研究室に一日中引きこもったりと毎日のように利用していました。また、図書館では、購入図書のリクエストができるので、受験勉強のための問題集を取り寄せていただくことができ、とても助かりました。勉強に飽きた時は、漫画ブラックジャックや、野ブタをプロデュ

ース（原作の野ブタは男です！）で気分転換。意外と最近の話題作が潜んでいたりします。

4年生になると、卒業研究を中心に、嫌でも頻繁に利用せざるをえなくなるので、後輩のみなさんには、3年生までに図書館に慣れておくことをお勧めします。みなさんも、図書館のすてきな使い方を考え出してみてください。

原稿を書いているうちに打ち上げ会場に到着したので、これで終わりにしたいと思います。



自分なりの利用法を見つけよう

理学療法学科 4年 須郷 磨衣子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。友達ができるかなとか、勉強は大変なのかなとか、不安や期待でいっぱいなのではないでしょうか。残念ながら、私はもう少して卒業。皆さんにお会いすることはできませんが、図書館をどのように利用してきたかについてお話したいと思います。

医療や福祉の世界に飛び込んでいく皆さんにとって、図書館はとても心強い場所です。と言いつつも、実は私はあまり本を読むことが好きではなかったのですが（読んでるうちに眠くなってしまうのです…）。きっと皆さんも、1、2年生のころは、テスト勉強やレポートの調べ物をする以外は、そんなに図書館には足を運ば

ないのではないのでしょうか。しかし、年次を追うごとに、自主的に専門書や医学雑誌をひも解いていくことが、とても大事になってきます。臨床実習や卒業論文を作成するときは、それまでのあいまいな知識では対応できないので、時には図書館の司書さんをお願いして文献を取り寄せたり、本を探していただいたりしました。また、私は今、ほぼ毎日図書館で国家試験の勉強をしています。わからないことがあるたびに専門書を探して読むという作業を繰り返しています。以前、ある先生が「私たちの職業にとって本は財産だよ」とおっしゃっていましたが、図書館に豊富にある専門書たちは、きっと皆さんにもたくさんのお話を教えてくれるはずですよ。

そうは言っても、今はインターネットの時代。ネット検索の方が早いこともあります。そして疲れたときには、1リットルの涙の原作本やカリオストロの城のビデオなんかもありますので、図書館で自分なりの楽しい場所を探してみたいかなと思います。



図書館と大学生活

社会福祉学科 4年 千葉 瞳



大学生活もあっという間に4年が過ぎました。卒業を目前にして、卒業論文の執筆など大変なこともあったけど、それ以上に充実した4

年間だったなと感じています。図書館とスタッフの皆さんには、本当にお世話になりました。大学の図書館はとても居心地が良く、落ち着ける雰囲気で好きでした。

振り返ってみると、私の大学生活の中で、図書館の存在は大きかったです。特に、学習の面で役立ちました。授業のレポートやゼミの発表資料などの作成、卒業論文のテーマ決めや文献探索のときによく利用しました。現場実習の前には、介護技術をビデオで学習しました。4年生になると、卒業論文や国家試験の勉強のために、多くの時間を図書館で過ごしました。あまり熱心に勉強をすることが得意ではない私ですが、図書館で勉強するとなぜか集中できたし（笑）、友達と一緒に3階の自習室もよく利用していました。

反省点もあります。私は1、2年生のときは、疑問や興味・関心をもつことがあっても、そのことについて本を読んだり調べたりして理解を深めようとするのが少なかった気がします。でも、図書館の利用の仕方や情報収集の方法が分かると、学習意欲も湧き、徐々に図書館に足を運ぶ機会が増えました。多くの知識や情報に触れることで、自分の知識不足を自覚し、自発的に図書館を活用するようになりました。青森県立保健大学の図書館には、多くの文献や雑誌、新聞などが置かれており、必要なものを利用するための設備も充実しています。ぜひ皆さんには、図書館の利用の仕方や便利なシステムを早い時期から知って、大学生活の中で図書館をうまく活用し、知識や情報を学習に役立てるのみならず、興味・関心や視野を広げるきっかけにつなげてもらえたらいいなと思います。

深夜の図書館でドッキリ！



大学院博士前期課程 2年 館 貴美枝

私が学部に入學した6年前は、今より蔵書も少なく、書棚にもまだ余裕があったように思います。大学院が開設し学生数が増えると、あっという間に蔵書も増えて「あれっ、今までここにあったのに・・・」と思う本が、いつのまにかお引越しなんていうことも珍しくありませんでした。それでも、図書館司書の方々はいつでも丁寧に場所を教えてください、また「大至急、〇〇の出典を教えてください！」という出張中の某教授のSOSにも、瞬時に対応をしてくださるなど感心と感謝の気持ちでいっぱいです。

私達大学院生は、深夜 24 時まで図書館を利用することができます。これは働きながら学ぶ大学院生にとって大変ありがたいシステムだと思っています。私自身はいつでも利用できる立場なのですが、それでも1人黙々と資料を探すことに集中できる深夜の図書館は魅力的です。しかし、誰もいないはず？と思い資料収集に夢中になっていると、何やら動く人影が・・・「きゃー」と悲鳴をあげると、そこには懐中電灯を持った警備員さんが・・・。「すすすす、すみません！」となぜか謝られてしまいますが、脅しているのはこちらですね。ご迷惑をおかけしております。

そして、蔵書が増えるたびに図書館司書の方もあれやこれやで大忙しだと思います。しかし、



図書が増えるということは、知識の引き出しが増えるということであり、図書館の成長はまさに大学の成長とも言えるのではないのでしょうか。

私は、学部から博士前期課程にそのまま進学しましたが、現在臨床で看護師として働いている同級生から文献検索の依頼を受けることがしばしばあります。そして、そのことを通じ同級生の様子を伺い知ったり交流できたりすることが密かな楽しみとなっております。今後は、学部や大学院を卒業・修了される方が、院生や教職員や母校の図書館や図書館司書の方々を知識の泉として活用されることをお勧めいたします。私自身、これからも学問を通し多くの図書やたくさんの方々との出会いながら、学びを深めていけたらと思っています。そして、脅しても脅されても図書館での深夜の張り込み続けたいと思います！



医中誌の追加機能 (Ver. 4)

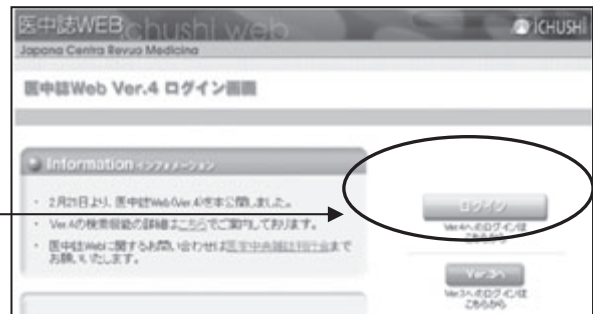
◆ 医中誌とは

日本の医学・看護系論文を検索できるデータベースです。1983年から最新の文献まで約570万件が収録されており（2006年2月現在）、月2回更新されています。2006年2月にリリースされたVer. 4では、一部の論文は本文データへのリンクが用意されるなど、さらに便利になりました。

◆ 利用方法

＜検索を開始するときは＞

図書館ホームページの「医中誌(学内限定)」をクリックし、「ログイン」をクリックしてください。



＜検索を終了するときは＞

同時アクセス数が限られていますので、終了するときは、必ず「終了」ボタンをクリックしてください。

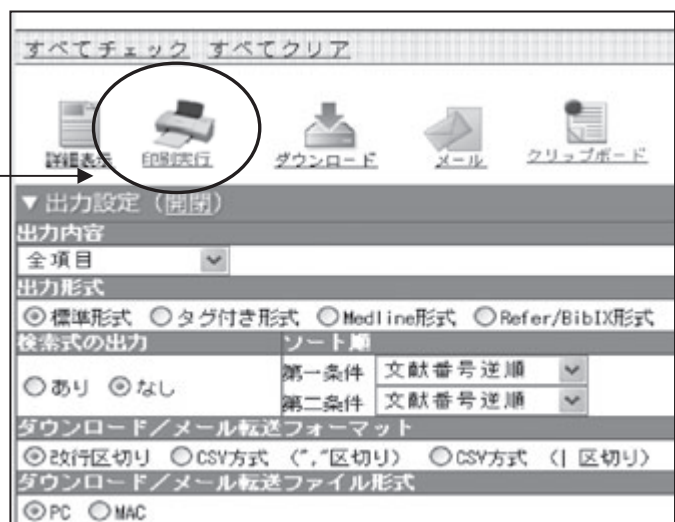


◆ 便利な機能

◎ 「印刷実行」のアイコンをクリックすると印刷用表示になります(右図)。

◎ Advanced Modeの履歴を部分的に削除できます。

◎ Advanced Modeで、何件か前の履歴を再度呼び出したい時は、履歴の番号(例 #1)をクリックします。



◎ 検索結果に収録誌の所蔵状況や電子ジャーナルへのリンクが表示されます。

(1) 「メディカルオンライン」にリンクしている論文の例。

クリックするとPDFファイルが開き、全文を見ることができます。



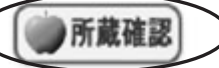
(2) PubMedにもデータ収録されている論文の例。

一部の文献は、リンクをたどっていくと全文を見ることができます。

(3) 図書館で所蔵している可能性がある雑誌の例。

クリックすると蔵書検索結果が表示されます。

*必ず **所蔵巻号** を確認してください。

6	2004214009		社会福祉法が障害者の意思決定に及ぼす影響(解説) Author: 岩月宏泰(香森県立保健大学) Source: 理学療法研究(0289-4211)20号 Page37-40(2003.06)
7	2004171524		統計でみる香森県の健康課題と健康あおり21(会議) Author: 北窓隆子(香森県健康福祉部) Source: 弘前医学(0439-1721)55巻2号 Page74-75(2004.06)
8	2004107307		比較文化精神療法 森田療法の文化的背景(解説) Author: 渡辺直樹(香森県立精神保健福祉センター) Source: 精神神経学雑誌(0033-2658)105巻5号 Page554-561(2004.05)
9	2003269498		佐井村における8020の取り組みについて 乳幼児期の口腔健康を考える(会議録) Author: 山田真実(香森県佐井村住民福祉課), 川島貴雅, 陽子 Source: 地域医療(0289-9752)第41回特集号 Page267-270(2006.06)

最初のへ 更新(R) ヘルプ

検索結果一覧

検索条件 → 検索結果一覧 → 詳細表示① → 絞り込み


表示順 書誌ID降 蔵書所在情報 非表示 表示件数 10

★ヒット件数が3000件以内の場合に、書名や著者名などで表示順を変更する事が可能です。

1件 /82,211 結果集合番号 [1] 検索式 OIS=02899752

<<最初 <前ページ 次ページ >> 最後>> (P)へ ジャンプ の 詳細

1

 **地域医療 / 国民健康保険診療施設医学会**

ISSN: 02899752 書誌No. BD00076872
和 刊行中 季刊 継続マスタNo. Z00671
37(1,3-4),38-40,41(2-4),42,43(1-3) [1999-2006] 継続

図書館 雑誌 (製本配架:書庫)

—図書館を利用するその前に—

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さて、楽しい大学生活を送るため、たくさんの課題やレポートをこなすため、実習に必要なことを調べるため、皆さんにとって必要不可欠な場所はどこでしょうか。それは図書館です。高校ではあまり図書館を利用しなかった方もいるかもしれませんが、これからは頻りに図書館に足を運ぶことになると思います。そこで、図書館を利用するにあたっての注意事項を簡単に述べておくことにします。マナーを守れていない方もたくさんいますので、新入生以外の皆さんも、もう一度図書館の使い方を見直してみましょう。

- ・ 図書館内では静かにしましょう。(大きな声で話している友達がいたら注意してあげましょう)
- ・ 図書館内での飲食は禁止です。(食べ物、飲み物はかばんの中に入れてください)
- ・ 図書館内での携帯電話の使用は禁止です。(電源を切るかマナーモードにし、通話はしないでください)

そのほか、閲覧席に荷物を置いたまま長時間席を空ける、利用者端末を独占する等の行為もやめましょう。きちんとマナーを守ってどンドン図書館を利用してください。

図書館を使っているうちにわからないこともたくさん出てくると思いますが、そんなときは図書館のカウンターへ気軽に声をかけてください。

最後に、本学図書館所蔵の大学図書館活用に関する図書を1冊ご紹介いたします。

大学図書館がゼロからわかる本：学生のための図書館活用法 日本図書館協会

(請求記号：017.7||O67)

図書館の利用法はもちろん、レポート・論文作成の方法についても書かれていますので、ぜひ参考にしてみてください。

《開館時間のお知らせ》

無印は9:00～21:00、■は9:00～16:45、□は休館です。

2006年4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

2006年5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2006年6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2006年7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2006年8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2006年9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第6号 平成18年3月発行

発行：青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 TEL:017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/>

この印刷物は500部作成し、印刷経費は1部当たり126円です。